

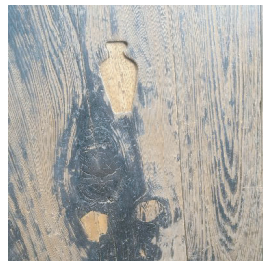
な るほど その12 本願寺

縁側と廊下の埋め木

多くの参拝者が行き交う御影堂・阿弥陀堂の縁側や廊下。

そこには動物や植物、モノをかたどった木によって、節穴や亀裂が埋められています。

参拝される人々を少しでも癒すことができればという大工達の粋な気遣いを感じることができます。



木村芳郎さんが生み出された紺碧の青の香炉で、参拝者をお迎え出来たらと思っています。
ちなみに、玄関に鎮座する狛犬、これも木村芳郎さんの作品です。



などを見て、「この色を焼き物に焼き付けたい」と決意されたとのこと。

いつの日か、善教寺本堂の香炉を、

木村芳郎さん曰く、世界を旅し、早朝のサハラ砂漠の澄んだ空、ギリシャのエーゲ海、南極に近い海



魅了されました。
十八年前、シルクロード仏教遺跡探訪の旅に出ました。その帰国後にご縁があり、木村芳郎さんとお逢い、紺碧の青に

住職レター

お寺の建物内に調和するカラー、何色だと思われませんか？

私は、青色だと思っています。青は青でも、鮮明な明るい青色。青の中でも、大好きな青色があります。それは、わが街地元が誇る、世界の青(木村ブルーと称される青)色が大好きです。